

気候変動イニシアティブ

JAPAN CLIMATE INITIATIVE \

2023年5月作成

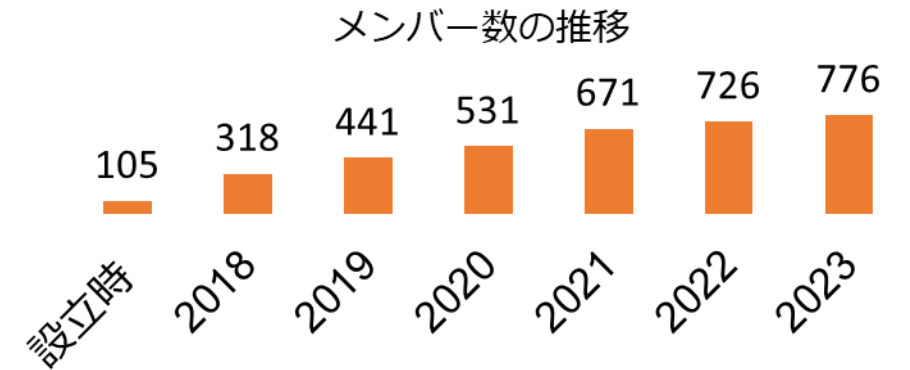
気候変動イニシアティブ (JCI : Japan Climate Initiative)

パリ協定が掲げる脱炭素社会の実現に向け、気候変動対策に積極的に取り組む企業、自治体、NGOなどの非政府アクターが、情報交換や連携を強化するためのネットワーク

105団体 (2018年7月6日の設立時)

776団体 (2023年5月8日時点) [メンバー一覧はこちら](#)

企業：591 (うち金融・投資機関：58)、自治体：38、その他：143
(うち大学・研究機関：9、事業者団体：3、消費者団体：13、文化施設・宗教団体：4、NPO/NGO等：117)



共同代表



末吉 竹二郎

国連環境計画・金融イニシアティブ特別顧問



加藤 茂夫

前 株式会社リコー
コーポレート上席執行役員

運営委員会

事務局団体



協力団体



活動の柱 1 : メンバー自身の取り組み推進と発信



気候変動アクション日本サミット (2018年～)

JAPAN CLIMATE INITIATIVE \ Race to Zero Circle



公式パートナーとして Race To Zero参加を推進

JAPAN CLIMATE INITIATIVE 気候変動イニシアティブ 連続ウェビナー 第1回

脱炭素実現へカーボンプライシングはどうあるべきか

第2回

主催：気候変動イニシアティブ (Japan Climate Initiative: JCI)
日時：2022年3月25日 (金) 15:00-17:00

第2回

グリーンエネルギー戦略に求められるものは何か

主催：気候変動イニシアティブ (Japan Climate Initiative: JCI)
日時：2022年5月13日 (金) 13:30-15:30



学びや交流の機会創出



COPでの情報発信・他国非国家アクターとの情報交流 (2018年～)

企業等がより厳しい世界水準の気候政策を必要とする背景

- ✓ 気候危機の悪化に伴い、気候変動対策の加速化と高度化が世界の潮流。
- ✓ この流れに乗れなければ、企業等は国際競争への参加資格を失う。すなわち、顧客を失い、サプライチェーンから外されてしまう。
- ✓ 世界水準のより厳しい対策に取り組むことは、単なるコストではなく、生き残るための投資であり、世界を目指す企業ほど、より野心的な国家政策を必要としている。
- ✓ 政府は、コストを強調する企業だけへの配慮から脱却し、世界を目指す非政府アクターの声にもっと耳を傾け、信頼し、国家政策でも世界をリードすべき。

G7日本開催にあたってのJCIから世界へのメッセージ

303団体が賛同

再生可能エネルギーとカーボンプライシングで二つの危機を打開する

✓ 2035年までに電力の大半を再生可能エネルギーで供給する

- G7が合意した「2035年までに電力供給の全て、または大部分を脱炭素化すること」に整合する再エネ目標の引き上げや政策の導入をいち早く。

✓ 実効性のあるカーボンプライシングの早期導入

- 排出量取引は、自主的な制度にとどまることなく、1.5°C目標のタイムラインに整合する十分な削減量を確実にする実効性のある制度として、早期に導入を。
- 炭素賦課金は、実効性のある価格設定で、2028年度よりも早期に導入を。

要望の早期実現を目指して：当面の活動方針

- 大臣とJCIメンバーとの面談／審議会等でのJCIメンバー発言の機会の創出
- 気候変動アクション日本サミットなどを通じた国内における情報発信の場で、大臣を含む政府からのご参加
- COP28ジャパンパビリオン等における国際発信のサポート、現地で大臣などとの面談の機会の創出

関連・参考URL

【JCIメッセージ関連URL】

- JCIメッセージ発表
<https://japanclimate.org/news-topics/jci-message-g7-release/>
- JCIメッセージ発表記者会見
<https://japanclimate.org/news-topics/jci-message-g7-press/>
- 朝日SDGs ACTION!記事（他掲載多数）
<https://www.asahi.com/sdgs/article/14884159>

【参考エネルギーシナリオURL】

- 2035年エネルギーミックスへの提案（第1版）：自然エネルギーによる電力脱炭素化を目指して（自然エネルギー財団）
<https://www.renewable-ei.org/activities/reports/20230411.php>
- The 2035 Japan Report: Plummeting Costs of Solar, Wind, and Batteries Can Accelerate Japan's Clean and Independent Electricity Future (Berkeley Lab)
<https://emp.lbl.gov/publications/2035-japan-report-plummeting-costs>
- 脱炭素社会に向けた2050年ゼロシナリオ（WWFジャパン）
<https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/1576.html#energyscenario2020>